



カムカム

訪問歯科診療ニュース

「カムカム通信は」訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

噛む噛む 通信

2008.04
Vol.

50

SOS DENTIST

発行/SOSデンティスト
日本訪問歯科協会
〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町1-2-16
瀧田ビル3F
TEL:03(5623)3651
FAX:03(5623)1119

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで... ☎ 0120-099-505

かむかむ COME COME 倶楽部

ターミナルケアに対応する介護付有料老人ホーム「ハイ・フォロー・ゴールド」(株式会社T・P)では、ターミナルケアだからこそその口腔ケアの重要性を考え、実践しています。

ターミナルケアだからこそ
自分で食べる楽しみを
維持することが大切



介護付有料老人ホーム
ターミナルケア対応施設
ハイ・フォロー・ゴールド
施設長 岡井紀子さん

私 たち「ハイ・フォロー・ゴールド」では、以前から口腔ケアに取り組んでいましたが、日本訪問歯科協会の協力で、口腔ケアの必要性について勉強会を行ったことで、職員の認識がさらに変わりました。

勉強会で歯科の先生から伺ったお話は、すでに知っていることもあれば、今まで考えたこともなかったような情報もあり、職員の間で統一した認識がもてました。

先生のお話はわかりやすく、

普段の業務の中で「こんなふう
に活用すればよいのか」というこ
とが、よく理解できました。今で
は、必要性をしっかりと認識したう
えで、口腔ケアを実践できるよ
うになったと思います。

歯の治療だけでなく 予防についても前向きに

また、入所者の方々に向けて「お
口の健康相談」も行いました。
その告知のためのチラシを作
成して、ご本人やご家族の方に
お配りしたとき、「入れ歯に不具
合もなく、むし歯が痛むわけ
もなく、状態に問題がないのに、
わざわざ歯医者さんに診てもら
うの？」と戸惑われた方も多か
ったようです。

けれども、私たちも口腔ケア
の必要性をお話しし、先生から
もていねいに説明していただいた
ことで、ご本人もご家族の方々も、
重要性をよくわかってくださり、
「お口の健康相談を受けてよか

った」と大変満足していただきま
した。

お口の健康相談の後、訪問歯
科診療を受けられている方もい
らっしゃいます。先生がしっかりと
治療してくださった後、口腔ケア
の大切さもお話しいただいた
ので、予防への認識も大きく変
わり、前向きに取り組んでいます。

口腔機能をできる限り 長く維持するために

当施設はターミナルケア対応
なので医療ニーズが高いため、入
院中に口腔ケアまで手が回って
いない方が多く、ここに入所される
ときには、お口の中の汚れや口臭
がひどくて状態が悪い方もたく
さんいらっしゃいます。

けれども、職員が口腔ケアを
行い、定期的な先生にも診ていた
だいでいるので、誤嚥性肺炎も現
在のところ予防できています。

また、お口から食べることがギ
リギリのレベルの方も何人かいら
っしゃいます。しかし、ターミナル
期はお口から食べる楽しみは非
常に大きなことです。

口腔ケアと同時に口腔リハビ
リやマッサージを行い、ご自分で
食べられる期間をできるだけ長
く維持できるように、私たちは
取り組んでいます。

今日から始める、簡単お口のケア! アドバイス

口腔リハビリテーション 発語のリハビリ

言葉を使って人と会話をするこ
とは、高度な脳の機能です。言葉
を発する機会が減ると、機能がど
んと低下します。脳卒中などに
よって脳の言語中枢に障害が起
ると、うまく話ができなくなるこ
ともあります。

また、舌がうまく動かなくなっ
たり、上あごの筋肉が低下したり
することによって言葉が出にく
なることもあります。

舌の動きやくちびるの動きを
よくするための発音訓練は、食べ
ること同時に言葉を話すことのト
レーニングにもなります。

「パ、タ、カ、ラ、あ〜」と大きな声
に出して言ってみましょう。発語、
発音の訓練になります。

●パ、パ、パ...くちびるを閉じた
り開いたりする訓練
●タ、タ、タ...舌の中央を動かす
訓練

●カ、カ、カ...舌の奥を動かす訓
練
●ラ、ラ、ラ...舌の先を動かす訓
練

●あ〜...上あごのどの筋肉を
震わせる訓練